優秀賞

交通事故に注意

みやま市立上庄小学校 5年 山本 響

ニュースを見た。それは、滋賀県大津市の県道交差点で乗用車と軽乗用車がしょうとつし、軽乗用車が散歩中の園児側につっこみ、十六人が死しようしたという悲しい事件だ。私は、事件の怖さを改めて実感した。この事件以外にも、あおり運転、高れいドライバーによる事故などが、毎日のように報道されている。

私は、登校中、交差点や横断歩道を通るときに見守り隊の方とあいさつをする。黄色いベストを着たおじさんは、必ず「おはよう。今日もがんばってね。」と声をかけてくださる。私たちが交通事故に合わないように、暑い日も大雨の日もそこに立っていてくださる。テレビで交通事故のニュースを見るたびに、見守り隊のおじさんへありがたいの気持ちが強くなり、おはようのあいさつの声を大きくしている。

ところで、私達の学校は、三年生から自転車に乗ることができる。自転車は、自動車の仲間だ。一步ふみまちがえると、きけんな目に合う時があるし、合わせそうになる時もある。だから、毎年、交通安全教室がある。おまわりさんが、自転車の乗り方や道路標識について教えてくれる。おかげで私は正しい乗り方を学ぶことができた。

私は、考えた。なぜ、事故が起きるのか。標識を見なかったり、信号を見なかったりなど、交通ルールを守らない人がいるからだ。少なくとも私は、見守り隊やおまわりさんへの感謝の気持ちを伝える意味でも、きちんと交通ルールを守り自分の命を守ろうと思う。